NEWS RELEASE
情報発信資料

春日部市

令和７年６月２４日

市制施行 20 周年記念
春日部の特産品「麦わら帽子」の企画展示

春日部市の特産品の一つに「麦わら帽子」があります。市内では、明治時代初め、麦わらを真田紐状に編んだ麦稈真田の製造が、農家の副業として広く根付き、次第に帽子製造業へと展開していきました。明治時代末期には、麦稈真田などを扱う事業者は市域に 91 者おり、昭和前期には帽子工場が粕壁町だけで 11 工場、職工や内職も含め 500 人以上が製帽産業に関わっており、「帽都」（帽子産業都市）と称されました。市内では、今も昔ながらの製法で、麦わら帽子が製造されています。

郷土資料館では、市内の製帽所や関係者の協力の下、帽子の製造技術、近現代の麦わら帽子をめぐる歴史について調査をしてきました。今回の企画展示は、調査成果に基づき、市民から提供された資料や郷土資料館の収集資料を展示し、「帽都」としての春日部の魅力に迫ります。

◆展示会の概要　※詳しくはチラシ参照

事　業　名	春日部市郷土資料館夏季展示（第 72 回） 「麦わらのかすかべ～帽都いま・むかし～」展
会　　期	７月２３日（水）～９月７日（日）（休館日：㈪㈷）
関 連 事 業	８月２０日（水）　みゅーじあむとーく（担当学芸員による展示解説） ８月３１日（日）　記念講演会「関東の麦わら細工」 ９月　６日（土）　展示解説講座「春日部の麦わら帽子と関連産業」

昭和 30 年代　帽子の縫製

麦わら帽子（労働帽）

経木帽子

問い合わせ先

社会教育部　文化財課（郷土資料館）
担当：榎本　直通：048-763-2455